

2019 年度 修士学位審査請求論文

現代中国語における人魚構文

REN Lin

7213170012-2

立命館大学大学院言語教育情報研究科

2019 年度

## 要旨

Ono (2013)は中国語にも人魚構文が存在することを指摘し、「主語+コピュラ+節+名詞」という構造を持つことを明らかにしたが、中国語の人魚構文の文法的特徴については記述していない。本論文は、中国語の人魚構文の成立範囲と一部の文法特徴を記述することを目的としている。角田(1996・2013)が列挙した日本語の人魚構文の述部に現れる名詞を参考にして、コーパスから例文を収集した。その結果、中国語の人魚構文の成立範囲は、日本語の人魚構文の成立範囲より狭いことがわかった。そして、中国語のコピュラ文、連体修飾節と人魚構文を比較することを通して、一部の文法特徴を記述した。コピュラ文では不可能なコピュラの省略が人魚構文では可能であること、人魚構文では通常連体修飾節の範囲を超えて島の制約に対する違反が可能であることを明らかにした。

### キーワード

人魚構文、連体修飾節、コピュラ文、島の制約

目次

<b>1. はじめに</b> .....	<b>1</b>
<b>2. 先行研究</b> .....	<b>1</b>
2.1 「人魚構文」とは.....	1
2.3 中国語における「人魚構文」.....	5
2.4 人魚構文に関する日本語と中国語の対照研究.....	7
<b>3. 研究課題と研究方法</b> .....	<b>9</b>
<b>4. 名詞</b> .....	<b>10</b>
4.1 名詞と主語の関係.....	10
4.2 普通名詞.....	11
4.3 形式名詞.....	15
4.4 まとめ.....	19
<b>5. コピュラ文</b> .....	<b>19</b>
5.1 コピュラ文の基本構造.....	19
5.2 名詞述語が連体修飾される構造.....	20
5.3 人魚構文.....	20
5.4 まとめ.....	23
<b>6. 連体修飾節と人魚構文の違い</b> .....	<b>23</b>
6.1 中国語における島の制約.....	23
6.2 例外としての人魚構文.....	25
6.3 まとめ.....	28
<b>7. おわりに</b> .....	<b>28</b>
7.1 まとめ.....	28
7.2 今後の課題.....	29
参照文献.....	29
謝辞.....	31

付録.....	32
---------	----

## Abbreviations

AC	adnominal clause
ASP	aspect marker
CAUS	causative
CL	classifier
COP	copula
DAT	dative
DE	pre-nominal modification marker or postverbal resultative marker <i>de</i>
FT	free translation
GEN	genitive
INF	infinitive
LK	linker
LOC	locative
LT	literal translation
NEG	negation
NMLZ	nominalizer
NOM	nominative
NPST	non-past
PART	particle
PF	patient focus
PST	past
SG	singular
TOP	topic
3	third person

## 1. はじめに

角田(2011)は、前半が動詞述語文と同じ構造を持ち、後半が名詞述語文と同じ構造を持っている構文を人魚構文 (mermaid construction) と名付けた。そして、人魚構文は日本語では頻繁に使われるが、世界的にみても珍しい構文であると指摘した。この珍しい構文は日本語と異なるタイプの中国語にも存在する。Ono (2013)は、中国語の人魚構文の構造を指摘した。しかし、それ以上の分析がない。また、現時点では、Ono (2013)以外に中国語における人魚構文に関する研究は見当たらない。

本論文では、日本語と中国語を中心に人魚構文の先行研究を概観するとともに、中国語の人魚構文の成立範囲を検討する。先行研究の例文に対応する中国語の人魚構文をコーパスから探すとともに母語話者の文法性判断を示す。さらに、これらの例文の文法特徴を記述することにする。

## 2. 先行研究

### 2.1 「人魚構文」とは

角田(1996)は、(1)のような体言締め構造を持っている文を「体言締め文」 (noun-concluding construction) と名付けて、考察した。

#### (1) 体言締め構造

.....動詞/形容詞(・形容動詞)の連体形＋体言＋だ。

角田(2011)以降、体言締め文は人魚構文 (mermaid construction) と呼ばれている。人魚構文は(2)の様な前半が動詞述語文と同じ構造を持ち、後半が名詞述語文と同じ構造を持っており、人魚に似ている(例文を(3)から(5)にあげる、例文は角田(2011:54)から引用している)。

#### (2) 体言締め文または人魚構文

[節] 名詞 だ。

[Clause] Noun Copula.

(3) [太郎は名古屋に行く]予定だ。

(4) [太郎は今本を読んでいる]ところだ。

(5) [外では雨が降っている]模様だ。

人魚構文の前半部分は動詞述語節に限らない。形容詞述語節(6)や名詞述語(7)などもある。例文(6)と(7)の LT と FT は、それぞれ、literal translation (逐語訳)と free translation (意訳)の略語である。人魚構文は、それが無い言語に翻訳する際、逐語訳を行うと解釈が困難な文になることが多いため、例文を紹介する際に意識を添えることがある。

(6) [Hanako=wa akaru-i] seekaku=da.

Hanako=TOP be.cheerful-NPST nature=COP.NPST

LT: 'Hanako is a nature [such that she] is cheerful.'

FT: 'Hanako has a cheerful nature.'

(7) [Hanako=wa tensai=de ar-u] tumori=da.

Hanako=TOP genius=COP.GER be-NPST intention=COP.NPST

LT: 'Hanako is an intention [such that she] is a genius.'

FT: 'Hanako considers herself a genius.'

(Tsunoda 2013a:18)

そして、Tsunoda (2013a:16)は、人魚構文は以下の三つの特性を持っていると指摘した。

- a (2)の様な構造を持っている。
- b [節]の主語と名詞は同一指示的 (coreferential) ではない。
- c [節]の部分だけで文として使える。

上記の(3)~(7)の例文はいずれもこの三つの特性に従っている。全ての例文は(2)の様な構造を持っているし、[節]の主語と「名詞」は同一指示的 (coreferential) ではない。角田(2011)は(3)、(4)について、太郎は予定・ところではなく人間であると指摘した。(5)については、雨は模様ではなく自然現象であると指摘した。つまり通常の名詞述語文であれば成立する主語と述語名詞の同一指示が成立しないのである。

そして、Tsunoda (2013a)は、人魚構文と名詞述語文の統語的な違いについて、詳しく説明した。名詞述語文(8)と人魚構文(11)と比較してみよう。

- (8) Kore=wa Hanako=ga tukut-ta yotee=da.  
 This=TOP Hanako=NOM make-PST plan=COP.NPST  
 Subject Predicate  
 ‘This is the/a plan that Hanako made.’
- (9) Kore=wa yotee=da.  
 This=TOP plan=COP.NPST  
 Subject Predicate  
 ‘This is a plan.’
- (10) [Hanako=wa Nagoya=ni ik-u] yotee=da.  
 Hanako=TOP Nagoya=DAT/LOC go-NPST plan=COP.NPST  
 LT: ‘Hanako is a plan [such that she]gose/will go to Nagoya.’  
 FT: ‘Hanako plans to go to Nagoya.’
- (11)\* Hanako=wa yotee=da.  
 Hanako=TOP plan=COP.NPST  
 LT: ‘Hanako is a plan’

(Tsunoda 2013a:19)

例文(8)と(9)を比較してみよう。Tsunoda (2013a)によると、名詞述語文は連体節を抜くことができる。一方、人魚構文(10)の節の部分は抜くと、例文(11)のように据わりの悪い文ができる。

そして、人魚構文は形の上では連体修飾構造に似ているが、統語的な振る舞いは単文のようである。以下例文を比較してみよう。

- (12) Hanako=ga(\*Hanako=no)hanas-u
- (13) Hanako=ga (or Hanako=no) hanas-u koe.  
 Hanako=NOM ( Hanako=GEN) talk-NPST voice  
 LT: ‘the voice with which Hanako talks’
- (14) [Asita=wa Hanako=ga (\*Hanako=no) tuk-u] yotee=da.  
 tomorrow=TOP Hanako=NOM (Hanako=GEN) arrive-NPST plan=COP.NPST  
 ‘Hanako plans to arrive tomorrow.’

(Tsunoda 2013b:122)

Harada (1971)は、連体修飾節ではガ・ノ交替が生じるがそれ以外の構造では生じないことを指摘した。ガ・ノ交替は主語が主格助詞ガだけでなく属格助詞ノでも表されるようになる現象である。連体修飾節を含む例文(13)では主格助詞ガを所有格助詞ノに変えることができるが、人魚構文(14)と単文(12)では主格助詞ガを所有格助詞ノに変えることができない。

また、Tsunoda (2013a)によると、人魚構文では主語の後にモーダル副詞が現れ得る((17)を参照)が、名詞述語文で連体修飾節の主語の後にモーダル副詞が現れると据わりの悪い文になるという((16)を参照)。主語の後にモーダル助詞が現れ得る特徴は人魚構文と単文(15)に共通の特徴である。

(15) [Hanako=wa tabun Nagoya=ni ik-u] yotee=da.  
 Hanako=TOP probably Nagoya=DAT/LOC go-NPST plan=COP.NPST  
 ‘Hanako probably plans to go to Nagoya.’

(16)? Kore=wa Hanako=ga tabun ka-i-ta hon=da.  
 this=TOP Hanako=NOM probably write-LINK-PST book=COP.NPST  
 Intend meaning: ‘This is the/a book that Hanako probably wrote.’

(17) Hanako=wa tabun isya=da.  
 Hanako=TOP probably doctor=COP.NPST  
 ‘Hanako is probably a doctor.’

(Tsunoda 2013b:121)

## 2.2 「人魚構文」がある言語

角田(2011)は、人魚構文は日本語だけではなく、他の言語にも存在していることを指摘している。また、人魚構文に近い構文を持っている言語が存在することも指摘している。

角田(2012:4-5)は人魚構文がある言語を列挙した。人魚構文の原型またはそれに近いものを持っているのは、日本語の他には、タガログ語、琉球語、アイヌ語、韓国語・朝鮮語、中国語、アムド・チベット語、ビルマ語、シダマー語の、わずか八つの言語である。これらの言語の大部分はアジア言語である。アジア以外では、アフリカのシダマー語に見つかっているだけである。人魚構文の原型でもなく、またそれに近くもないが、やや人魚構文に似ているものが、ユカギル語、サハ語、モンゴル語、ダパ語、ネワール語、ヒンディー語、クルフ語の七つの言語に見つかった。これらの言語も

すべてアジアの言語である。

上記の言語は、地理的にはほぼアジアに集中している。多くの言語は日本語と同じ、述部が末尾に来る SOV(主語—目的語—動詞)という語順である。人魚構文は OV 型語順の言語に限らず、述部前置 VO 型の言語にも存在している。例えば、日本語の語順と異なるタイプのタガログ語である。片桐(2013)によると、タガログ語は述部先頭言語(VOS または VSO)の語順で、日本語の「だ」に当たるようなコピュラがない言語である。タガログ語における人魚構文は(18)の様な構造を持っている。例文を(19)と(20)にあげる。

(18) 名詞 リンカー(連結辞) [節]

(19) Mukha-ng [malusong si Erap].

Face-LK healthy TOP Erap

直訳:エラップは健康の顔だ。

訳:エラップは健康そうだ。

(20) Plano-ng [aprubá-han nang gobyerno ang pag-import.

Plan-LK approve-PF:INF GEN government TOP NMLZ-import

nang bigas].

GEN rice

直訳:政府の米の輸入を認める計画だ。

訳: 政府は米の輸入を認める計画だ。

(片桐 2013:17–19)

また、VO 型の言語の中国語にも人魚構文がある。

### 2.3 中国語における「人魚構文」

中国語では、人魚構文がどのような形で存在するか。Ono (2013)は、中国語における人魚構文は(21)のような構造を持っていると指摘した。

(21) Subject + Copula + Clause + Noun.

(主語+コピュラ+節+名詞)



(25) Tā	cóng	xiǎo	jiù	shì	yī	fù	lǎolao	bù	qīn
<u>3SG</u>	from	young	already	<u>COP</u>	<u>one</u>	<u>CL</u>	<u>grandmother</u>	<u>NEG</u>	<u>kiss</u>
Subject				Copula	Clause (continued)				
jiùjiù	bù	ài	de	dé xíng.					
<u>uncle</u>	<u>NEG</u>	<u>love</u>	<u>PART</u>	bad.attitude					
Clause				Noun					

LT: 'He is a bad attitude such that [his] grandmother did not kiss [him] and, [his] uncle did not love [him] since [he] was a child.'

FT: 'He has been disliked by others since he was a child.'

Ono (2013:678-679)

Ono (2013)は、以上の例文に示すように、中国語における人魚構文の「名詞」が証拠性名詞という特徴が見られることを指摘しているが、それ以上の詳しい分析や解説はない。また、現時点では Ono (2013)以外に中国語における人魚構文に関する研究は見当たらない。そこで、本稿では、Ono (2013)が提案した構造を基準として、日本語の人魚構文と対照して、中国語における人魚構文の文法特徴を記述することにする。

#### 2.4 人魚構文に関する日本語と中国語の対照研究

人魚構文と関連する構文に関する中国語の研究がある。澤田(2003)では、属性叙述における日本語の名詞述語文の成立条件について英語と中国語を対照して考察した。属性叙述には、〈部類〉〈側面〉〈部分〉の3層から「属性の階層構造」を想定して、人魚構文(体言締め文)と関連する〈側面〉を表す名詞述語文について論じた。

(26) 太郎はなかなか怒らない性格だ。

(27) あの力士は立派な体つきだ。

(角田 1996:142)

(26)と(27)は「X は[Z+[Y]]だ」という構造を持っており、構造的に人魚構文と共通している。Y が主題 X に対し、属性叙述の何らかの基準となる項目を表している。その項目 Y に具体的な情報 Z を与えることにより主題 X に属性を付与しているのである。このような Y を〈側面〉と呼ぶ。そし

て、澤田はこのような〈側面〉に関する属性叙述は、日本語においては名詞述語文で表すことが可能だが、中国語では不可能であると述べた。

名詞述語文「XはYだ」「Xは[Z+[Y]]だ」		属性の階層	日本語	英語・中国語
彼は学生だ。	$X \subset Y$	$X \subset Y$	〈部類〉 ↑	↓
富士山は日本で一番高い山だ。	$X = Y$			
彼は家庭を愛するタイプだ。	$X \subseteq [Z + [Y]]$		↓	
彼はなかなか怒らない性格だ。	Xの Y	$[Z + [Y]]$ 内容—側面	〈側面〉 ↑	
彼はやさしい性格だ。				
今日はいい天気だ。				
??彼は高い背だ。		$[Z + [Y]]$ 属性—対象	↓	〈部分〉
??彼は大きな手だ。				
??彼は青色のセーターだ。				

図1 『属性の階層構造』と名詞述語文の成立領域 澤田(2003:45)

澤田(2003)は、中国語の名詞述語文は基本的に〈部類〉の場合のみ成立するが、ある条件のもとで〈側面・部分〉にも拡張することを明らかにした。例えば、例文(28)のような場合は名詞述語文が成立する。図1に示したように、「 $X \subseteq [Z + [Y]]$ 」と表せば〈部類〉を表す名詞述語文[ $X \subset Y$ ]からの派生であると考えられる。

(28) a 彼は家庭を愛する(家庭的な)タイプだ。

b He is the domestic type.

c 他是很爱家的那种类型。

He be very love home of the type.

FT: 'He is the domestic type.'

澤田(2003:43)

(28c)の例文は、Ono (2013)が中国語の人魚構文の構造としてあげた(21)の構造を持っている。

(29) 他 是 很 爱 家 的 那 种 类 型。  
 tā shì hěn ài jiā de nà zhǒng lèi xíng.  
 Subject Copula Clause Noun

LT: 'He be very love home of the type.'

FT: 'He is the domestic type.'

澤田(2003)では、属性叙述における中国語の名詞述語文の成立条件について〈側面・部分〉の場合ほぼ成立しないが、ある条件で成立できると指摘した。したがって、中国語ではある条件で人魚構文、または人魚構文と関連する構文が成立すると言ってもいいだろう。しかし、具体的にどのような条件で成立可能かまだ不明である。本稿では、中国語における人魚構文の成立範囲を考察する。

### 3. 研究課題と研究方法

Ono (2013)が提案した構造を基準として、中国語において(21)の構造をもった構文の分析を行う。中国語における人魚構文の成立範囲と文法特徴を記述することにする。

本論文の使用する例は、作例、先行研究の例文、コーパスから引用した。作例の適否は中国語に在住している、複数のネイティブスピーカーの意見を尋ねた。ネイティブスピーカーの意見は統一が見られない場合、多数派の回答を判断の依拠とする。また、すべての訳文は筆者によるものである。

以下の二つのコーパスを利用して、例文を収集する。ネイティブスピーカーのフェイスシートは付録に添付する

#### 北京大学 CCL コーパス

話し言葉(北京語調査)データを含む、百家の演壇(科学教育番組)・映画などの映画作品の一部を含むデータ、インターネット用語データ、書き言葉データが含まれている。その中で、新聞データが圧倒的に大きな割合を占めている。合計は約 15 億字以上のデータがある。

#### 北京語言大学 BCC コーパス

文学、新聞、微博、科学技術、古漢語、学生の作文などの多くの領域を含んでおり、その中に新聞、文学、微博、科学技術、古漢語はすべて 120 億字以上のデータがあり、各類の分布は相対的

に均衡している。

#### 4. 名詞

Ono (2013)では、次の名詞は中国語の人魚構文における「名詞」の位置に現れることができるとされている。

“yangzi” ‘appearance, expressions’、 “piqi” ‘nature, character’、 “dexing” ‘bad attitude’、 “jiashi” ‘posture, arrogance’

Ono (2013:677)

中国語の人魚構文における「名詞」の位置に現れる他の名詞があるだろうか。これを検証するために、角田(1996)が列挙した「名詞」を参考にして、コーパスから例文を収集した。

##### 4.1 名詞と主語の関係

Tsunoda (2013a)は日本語の人魚構文の[節]の主語と「名詞」は同一指示的 (coreferential) ではないと指摘した。例文(30)は Ono (2013)で指摘された(21)の構造を持っているが、人魚構文ではないと考える。主語と述語名詞が同一指示的なので、名詞述語文である。

(30) jiāoyù shì [péiyǎng rén] de shèhuìhuódòng.

教育 COP 育成 人 PART 社会活動

‘教育は人を育成する社会活動だ。’

(BCC コーパス)

次に、例文(31)を見てみよう。この例文は(21)の構造を持っており、一見すると意味的にも人魚構文と似ているが、実は人魚構文ではない。議論を複雑にしないため、(31)と同様の構造をもち、意味的にもほぼ対応する例(32a)を通してこの構造について説明する。

(31) jia zai xiancheng de wangpincheng shi [ta zhuigan]  
 家 いる 県 PART 王品成 COP 彼 追いかける  
 de mubiao.  
 PART 標的

“県に住んでいる王品成は彼が追いかける標的だ。”

(BCC コーパス)

(32) a. xiaowang shi [ta zhuigan] de mubiao.  
 王さん COP 彼 追いかける PART 標的

“王さんは彼が追いかける標的だ。”

b. [ta zhuigan] de mubiao shi xiaowang.  
 彼 追いかける PART 標的 COP 王さん

“彼が追いかける標的は王さんだ。”

c. ta zhuigan xiaowang.

彼 追いかける 王さん

“彼は王さんを追いかける。”

(32a)では、意味的に王さんは人間であり、標的ではない。構造的にも人魚構文と似ている。ここで、(32b)と(32c)を比較してみよう。双方とも「追いかける」の主語は「彼」で、「王さん」は目的語である。実際には、王さんは追いかけるターゲットなので、“mubiao” (標的)と“xiaowang” (王さん) は同一指示的である。従って、例文(31)と(32a)は人魚構文の特徴を持っていない。「名詞」が同一指示であるため、人魚構文と見なすことができない。以下の節で連体修飾節と名詞で構成される名詞述部をもつ構造を検証する際に同様の基準で人魚構文か否かを判断する。

## 4.2 普通名詞

角田(1996)は、人魚構文の「名詞」の位置に起こる普通名詞を以下のように分類した。

表1 日本語の人魚構文の普通名詞

普通名詞	[1] 「意志」の類。意向、所存、狙い、予定、作戦など。 [2] 「段取り、見込み」の類。段取り、運び、見込み、流れなど。 [3] 「状況、結果」の類。様子、気配、模様、状況など。
------	--

[4] 「感情」の類。感じ、気持ち、気分、思いなど。
[5] 「印象、雰囲気」の類。印象、雰囲気、ムード、感触など。
[6] 「習慣」の類。傾向、風潮、習慣、生活など。
[7] 「人間の性格」の類。性格、性質、たち、タイプなど。
[8] 「役目」の類。役目、役割、責任、立場など。
[9] 「体の特徴」の類。体、身体つき、体質、表情など。
[10] 「無生物の構成」の類。作り、仕組み、構造、内容など。
[11] 「疑い」の類。この名詞一つでグループを成すとしておく。

上の表の[1]から[11]の名詞を含む日本語の人魚構文に対応する中国語の文をコーパスで使って検索した。その代表例を以下の表に示す。以下の表の右端の列の「○」と「-」はそれぞれ中国語で対応する人魚構文が存在することと存在しないことを表すものとする。中国語でも人魚構文で表す場合は表の右端の列に「○」を付けた。中国語では人魚構文を用いない場合は表の右端の列に「-」を付けた。

表 2 中国語の人魚構文の普通名詞

日本語の分類	中国語の例文	
[1] 「意志」の類	(33) Bandaranaike xiansheng {you/*shi} yige [jianli バンダラナイケ さん ある 一つ 築く guojihuiyizhongxin] de jihua. 国際会議センター PART 計画 “バンダラナイケさんは国際会議センターを築く計画がある。” (CCL コーパス)	—
[2] 「段取り、見込み」の類	(34) yizhuoxiaofei {you/*shi} [tigao dangci ] de qushi. 服装の経費 ある 高める 段 PART 傾向 “服装消費は格を高める傾向がある。” (CCL コーパス)	—

[3] 「情 況、結果」 の類	(35) tamen cai shi [ni qidai] de yangzi. 彼らこそ COP あなた 期待 PART 様子 “彼らこそ、あなたが期待している様子だ。”  (BCC コーパス)	○
[4] 「感 情」の類	(36) weici ta ye {you/*shi} [ganxie tamen] de xinqing. そのため 彼も ある 感謝 彼ら PART 気持ち “そのため、彼も彼らに感謝する気持ちがある。”  (CCL コーパス)	—
[5] 「印 象、雰 囲 気」の類	(37) shi malinsheng de erduo {you/*shi} yige させる 馬林生 の 耳 ある 一つ [jieshang hen renao] de yinxiang. 街 とても 賑やか PART 印象 “馬林生の耳には、街を賑やかにしている印象があった。”  (CCL コーパス)	—
[6] 「習 慣」の類	(38) zhongguoren {you/*shi} [chi niangao] de xisu. 中国人 ある 食べる 餅 PART 習わし “中国人は餅を食べる習わしがある。”  (BCC コーパス)	—
[7] 「人 間の 性 格」 の類	(39) ni shi [xihuan shejiao zhongshi zhixu] あなた COP 好く 社交 重視 秩序 de xingge. PART 性格 “あなたは社交が好きで秩序を重視する性格だ。”  (BCC コーパス)	○
[8] 「役 目」の類	(40) ziji {you/*shi} [jiaoyu ta] de zeren. 自分 ある 教育 彼 PART 責任 “自分は彼を教育する責任がある。”  (CCL コーパス)	—

[9] 「体の特徴」の類	(41)*ta shi [neng juqi shigongjin tie] de tige. 彼 COP できる 挙げる 十キロ 鉄 PART 体 (作例)	—
[10] 「無生物の構成」の類	(42) a. この車は時速千キロで走る仕組み/設計/構造だ。 b.* naliangche shi [shisu yiqian gongli xingshi] この車 COP 時速 千 キロ 走る de zhuangzhi/sheji/gouza. PART 仕組み/設計/構造 角田(1996:142)	—
[11] 「疑い」の類	(43) dagudong {you/*shi} [zhuanyi zichan] de xianyi. 筆頭株主 ある 移す 資産 PART 疑い “筆頭株主は資産を移す疑いがある。” (CCL コーパス)	—

日本語で人魚構文の述部に来る名詞の多数は、中国語に対応物を持たない。コンピュータの代わりに、存在動詞“you” (在る)がよく用いられる。中国語では“shi”も存在を表せるが、“you”の使用範囲と違っている。劉等(1983)は次のように指摘している。

“是”表示什么东西占据了某一空间，或肯定某一空间为某东西所占据。而“有”旨在说明在某一空间存在着某种东西。

[“shi”は何か空間を占めていることを表している、または、ある空間が何か占められていることを肯定している。しかし、“you”は、ある空間に何か存在していることを示すことを目的としている。](訳文は筆者)

劉等(1983:430)

現時点では、中国語の人魚構文における「名詞」の位置に現れることができる普通名詞は Ono (2013)が指摘した名詞以外に見当たらない。中国語の人魚構文の成立条件は、日本語の成立条件より狭いと考えられる。

### 4.3 形式名詞

角田(1996)によれば、人魚構文の述部には普通名詞だけでなく形式名詞も現れる。Tsunoda (2013b:99)は、角田(1996)のリストに時間関係の形式名詞を加えている。

表 3 日本語の人魚構文の形式名詞

形式名詞	[1] つもり [2] はず [3] わけ [4] もの [5] 次第 [6] 方 [7] ところ [8] 時間の関係、進行などを表す名詞「時間、前、直前」 [9] こと [10] 由
------	---

上記の形式名詞を述部に含む人魚構文と対応する中国語の人魚構文の文法性について検討した。(44a)～(53a)は角田の文章から引用した例文である。これに対応する中国語の人魚構文は(44b)～(53b)で、(44c)～(53c)が日本語の人魚構文に対応する中国語の自然な文である。

表 4 中国語の人魚構文の形式名詞

[1] つもり (44) a. 太郎は明日東京へ行くつもりだ。 b. <i>tailang</i> { <i>you/*shi</i> } [ <i>mingtian qu Beijing</i> ] <i>de</i> <i>dasuan</i> . 太郎 ある 明日 行く 北京 PART つもり “太郎は明日北京へ行くつもりがある。”	—
--	---

<p>[2] はず</p> <p>(45) a. 道理で花子是一所懸命勉強しているはずだ。</p> <p>b. *andaoli huazi shi [nuli xuexi] de yinggai. 道理で 花子 COP 一所懸命 勉強する PART はず</p> <p>c. andaoli huazi shi yinggai [nuli xuexi] de. 道理で 花子 COP はず 一所懸命 勉強する PART</p>	—
<p>[3] わけ</p> <p>(46) a. 花子是一所懸命勉強していた。合格したいわけだ。</p> <p>b. * huazi nuli xueli le, [xiangyao hege] de yinwei. 花子 一所懸命 勉強する ASP 欲しい 合格 PART わけ</p> <p>c. huazi nuli xueli le, yinwei ta [xiangyao hege] de. 花子 一所懸命 勉強する ASP わけ 彼女 欲しい 合格 PART</p>	—
<p>[4] もの</p> <p>(47) a. 男の子は泣かないものだ。</p> <p>b. nanhai shi [buneng ku] de. 男の子 COP できない 泣き PART “男の子は泣かない。”</p>	—
<p>[5] 次第</p> <p>(48) a. 我々は心からお詫びする次第だ。</p> <p>b. * women shi [cong xinli gandao baoqian] de yinwei. 我々 COP から 心 感じる お詫び PART 次第</p> <p>c. women shi [cong xinli gandao baoqian] de. 我々 COP から 心 感じる お詫び PART</p>	—
<p>[6] 方</p> <p>(49) a. 花子はよく勉強する方だ。</p> <p>b. huazi shi [jiangchang xuexi] de. 花子 COP よく 勉強 PART “花子はよく勉強をする。”</p>	—

<p>[7] ところ</p> <p>(50) a. 彼は今本を読んでいるところだ。</p> <p>b.* ta shi xianzai [zai kan shu] de zhuangtai.      彼 COP 今 テイル 読む 本 PART ところ</p> <p>c. ta xianzai zai kan shu.      彼 今 テイル 読む 本</p>	—
<p>[8] 時間の関係、進行などを表す名詞「時間、前、直前」</p> <p>(51) a. 私はもう学校へ行く時間だ。</p> <p>b.*wo shi [qu xuexiao] de shijian le.      私 COP いく 学校 PART 時間 ASP</p> <p>c. wo dao shijian gai qu xuexiao le.      私 なる 時間 はず いく 学校 ASP</p>	—
<p>[9] こと</p> <p>(52) a. 学生は一所懸命勉強することだ。</p> <p>b.*xuesheng shi [nuli xuexi] de yinggai.      学生 COP 一所懸命 勉強 PART ことだ</p> <p>c. xuesheng shi [yinggai nuli xuexi] de.      学生 COP こと 一所懸命 勉強 PART</p>	—
<p>[10] 由</p> <p>(53) a. 花子は合格した由。</p> <p>b. *huazi shi [hege le] de haoxiang.      花子 COP 合格 ASP PART 由</p> <p>c. huazi haoxiang shi [hege le] de.      花子 ~そうだ COP 合格 ASP PART</p>	—

例文(51)では、日本語の人魚構文に対応する中国語の文が副詞節を含む複文になっている。そして、例文(47b)、(48c)、(49b)、(52c)、(53c)は、名詞述語の主要部が存在しないため、一見すると日本語のノダ文に対応する構文に見えるかもしれない。しかし、これは通常のコピュラ文と考えられる。

例文(54)は「人」を述語名詞とするコピュラ文であり、述語名詞が連体修飾節によって修飾されている。金(2016)によると、指示物が同じ要素の出現の重複を避けるために、このような構文では(55)に示すように述語名詞の主要部(この場合「人」)を省略することが可能であり、省略しても文全体の意味は変わらない。

(54) ta shi [qunian zai beida xue zhexue] de ren.

彼 COP 去年 で 北京大学 学ぶ 哲学 PART 人

“彼は去年北京大学で哲学を学んだ人だ。”

(55) ta shi [qunian zai beida xue zhexue] de.

彼 COP 去年 で 北京大学 学ぶ 哲学 PART

“彼は去年北京大学で哲学を学んだ人だ。”

例文(47b)、(48c)、(49b)、(52c)、(53c)も主要部名詞(人)を明示的に示すことができる。例文(47b)と(49b)に対応する主要部名詞が明示されている文を、それぞれ、(56)と(57)に示す。これらの構文は、文全体の主語と述語名詞(省略されている場合も含めて)が同一指示の関係にあるため、人魚構文ではなくコピュラ文であると考えられる。

(47b) nanhai shi [buneng ku] de.

男の子 COP できない 泣き PART

“男の子は泣かない。”

(56) nanhai shi [buneng ku] de ren.

男の子 COP できない 泣き PART 人

“男の子は泣かない人だ。”

(49b) huazi shi [jiangchang xuexi] de.

花子 COP よく 勉強 PART

“花子はよく勉強する。”

(57) huazi shi [jiangchang xuexi] de ren.

花子 COP よく 勉強 PART 人

“花子はよく勉強する。”

表 4 に示した日本語の形式名詞は中国語に訳すときにしばしば省略される。また、形式名詞と普通名詞、両方とも文のコピュラ“shi”の代わりに、“you”(ある)がよく用いられる。形式名詞は中国語の人魚構文における「名詞」の位置に現れにくい。

#### 4.4 まとめ

本章では、日本語の人魚構文における「名詞」の位置に現れる名詞のリストを参照して、中国語の人魚構文の「名詞」位置に現れる名詞をコーパスを使って調査した。その結果、普通名詞は Ono (2013)が指摘した名詞以外に見当たらなかった。形式名詞は中国語の人魚構文における「名詞」の位置に現れにくい。つまり、中国語の人魚構文の成立範囲は、日本語の成立範囲より狭いと言える。

### 5. コピュラ文

中国語の人魚構文はコピュラ“shi”を含む構文である。人魚構文は他のコピュラ文と統語的に異なる側面がある。この節では人魚構文と他のコピュラ文の違いについて論じる。

#### 5.1 コピュラ文の基本構造

中国語で日本語の「だ」に相当するコピュラは“shi”である。以下の例文を参照されたい。

(58) wo    shi    xuesheng  
  
(59) 私は                      学生    だ。

(60) ta        shi    laoshi  
  
(61) 彼は                      先生    だ。

上に示した例文から明かなように、中国語のコピュラは文末ではなく、名詞述語の前に来る。文全体の語順は「主語+コピュラ+述語名詞」となる。この点では、日本語と異なっている。“shi”は主語と述語を連結する役割を果たしており、このような文では、“shi”を省略することができない。

(62)\* wo shi xuesheng

(63)\* ta shi laoshi

“shi”を省略すると、例文(62)と(63)のように据わりが悪い文になる。中国語のコピュラ文では、“shi”を省略することができない。

## 5.2 名詞述語が連体修飾される構造

杉村(1980)によると、名詞述語が連体修飾される名詞述語文でも、コピュラ“shi”を省略できない。以下の例文の対を参照されたい。

(64) a.\* ta [zhongguo pai lai] de liuxuesheng.

彼 中国 派遣 来る PART 留学生

b. ta shi [zhongguo pai lai] de liuxuesheng.

彼 COP 中国 派遣 来る PART 留学生

“彼は中国が派遣して来た留学生だ。”

(65) a.\* ‘chunwang’ [dufu xie] de yishou shi.

春望 杜甫 書く PART ONE-CL 詩

b. ‘chunwang’ shi [dufu xie] de yishou shi.

春望 COP 杜甫 書く PART ONE-CL 詩

“「春望」は杜甫が書いた詩だ。”

杉村(1980:82)

## 5.3 人魚構文

文末名詞の前にコピュラと連体修飾節がある点で、5.2 で示した名詞述語文は構造的に Ono (2003)が指摘した(21)の構造と似ている。しかし、コピュラを削除可能か否かに関しては違いがある。人魚構文のコピュラ“shi”は例文(66b)～(69b)に示すように、省略することができる。

(21) Subject + Copula + Clause + Noun.

(主語+コピュラ+[節]+名詞)

(66) a. ta cong xiao jiu shi yifu [laolao bu qin  
彼 から 小さい 既 COP ONE-CL お婆さん ない 親しむ  
jiujiu bu ai ]de dexing.

叔父さん ない 愛する PART 徳性

“彼は小さい頃から誰からも愛されないやつだ。”

b. ta cong xiao jiu yifu [laolao bu qin  
彼 から 小さい 既 ONE-CL お婆さん ない 親しむ  
jiujiu bu ai ]de dexing.

叔父さん ない 愛する PART 徳性

“彼は小さい頃から誰からも愛されないやつだ。”

(67) a. dajia dou shi [songle yikouqi] de yangzi.  
皆 全て COP ほっとする 一息 PART 様子

“皆はほっとした様子だ。”

b. dajia dou [songle yikouqi] de yangzi.  
皆 全て ほっとする 一息 PART 様子

“皆はほっとした様子だ。”

(68) a. ta shi yifu [yao ba huangdi laxia ma] de  
彼 COP ONE-CL しよう CAUS 皇帝 引き落とす 馬 PART  
jiashi.

勢い

“彼は皇帝を引きずり下ろす勢いだ。”

b. ta yifu [yao ba huangdi laxia ma] de jiashi.  
彼 ONE-CL しよう CAUS 皇帝 引き落とす 馬 PART 勢い

“彼は皇帝を引きずり下ろす勢いだ。”

(69) a. ta cong xiao jiu shi yifu [tian bu pa di bu  
 彼 から 小さい 既 COP ONE-CL 天 ない 怖がる 地 ない  
 pa] de piqi.  
 怖がる PART 気性  
 “彼は小さい頃から何も恐れていない”

b. ta cong xiao jiu yifu [tian bu pa di bu pa]  
 彼 から 小さい 既 ONE-CL 天 ない 怖がる 地 ない 怖がる  
 de piqi.  
 PART 気性  
 “彼は小さい頃から何も恐れていない”

ただし、すべての人魚構文でコピュラ“shi”が省略できるわけではない。(70)から(72)に示す人魚構文では“shi”を削除できない。

(70) a. tamen cai shi [ni qidai] de yangzi.  
 彼らこそ COP あなた 期待する PART 様子  
 “彼たちこそ、あなたが期待している様子だ。”

b.\* tamen cai [ni qidai] de yangzi.  
 彼らこそ あなた 期待する PART 様子

(71) a. zhejianshi shi [xiaowang zuo] de yangzi.  
 このこと COP 王さん やる PART 様子  
 “このことは王さんがやっている模様だ。”

b.\* zhejianshi; [xiaowang zuo] de yangzi.  
 このこと 王さん やる PART 様子

(72) a. ni shi [xihuan shejiao zhongshi zhixu] de xingge.  
 あなた COP 好く 社交 重視 秩序 PART 性格  
 “あなたは社交が好きで、秩序を重視する性格だ。”

b.\* ni            [xihuan shejiao zhongshi zhixu] de            xingge.  
 あなた    好く    社交    重視    秩序    PART    性格

人魚構文で常にコピュラ“shi”が省略可能というわけではないことが分かる。例文(66)のように、主節の主語が埋め込まれた[節]の主語に対応する場合、コピュラを省略できる。しかし、例文(70)及び(71)のように、主節の主語が埋め込まれた[節]の目的語と対応する場合、コピュラを省略することができない。「性格」に関する人魚構文(72)は、主節の主語が埋め込まれた[節]の主語に対応する場合でもコピュラを省略できない点で特殊である。

#### 5.4 まとめ

本章では、コピュラ文と人魚構文を比較して考察した。コピュラ文の名詞述語が連体修飾される構造と人魚構文はコピュラの省略に関して異なる特徴を示す。コピュラ文は名詞述語が連体修飾される構造であれ、そのような構造がない場合であれ、コピュラを省略することができない。一方、人魚構文ではコピュラの省略が可能である。

### 6. 連体修飾節と人魚構文の違い

Ono (2013)は、中国語の人魚構文にはどのような統語的な特徴があるかという点については論じていない。この節では、人魚構文と連体修飾節を比較して、人魚構文の統語的特徴を明らかにしたい。

#### 6.1 中国語における島の制約

Ross (1986)は、言語には内部の要素を抜き出すことができない「島」があることを明らかにした。複合名詞句島(Complex NP island)、文主語島(Subject island)、wh 島(Wh-island)などである。彼はこのような島に関する制約を「島の制約(island constraints)」と名付けた。例文(73)は複合名詞句制約(Complex NP Constraint)の例文である。同じ about の目的語でも、(73a)のように名詞 statement を修飾する関係節に含まれる about の目的語を statement の主要部とする名詞句から抜き出すと非文法的な構造が生じるが、(73b)のように名詞 statement を直接修飾する about の目的語を抜き出す場合は文法的に適格な文になる。

(73) a. \* The man who I read a statement which was about is sick.

b. The man who I read a statement about is sick.

Ross (1986: 71)

中国語にも「島の制約」が存在する。Huang, Li and Li (2009)は、中国語の主題化に関する移動が島の制約に従うことを指摘した。例文(74)は複合名詞句制約に違反する構造であり、非文法的と判断される。

(74) a. \*Lisi<sub>i</sub>, wo renshi [henduo [[e<sub>i</sub> xihuan] de] ren].

Lisi I know many e<sub>i</sub> like DE person

‘\*Lisi<sub>i</sub>, I know many people who e<sub>i</sub> likes.’

b. \* Lisi<sub>i</sub>, wo hen xihuan [[[ e<sub>i</sub> chang ge] de] shengyin].

Lisi I very like e<sub>i</sub> sing song DE voice

‘\*Lisi<sub>i</sub>, I like the voice with which e<sub>i</sub> sings.’

しかし、Huang et al. (2009)によれば、複合名詞句が「島」にならない場合があるもあるという。例文(75)は複合名詞句制約が違反しているが、文法的である。

(75) Zhangsan<sub>i</sub>, [[e<sub>i</sub> xihuan de] ren] hen duo.

Zhangsan like DE person very many

‘Zhangsan<sub>i</sub>, people who [he<sub>i</sub>] likes are many.’

(Huang et al., 2009:208-209)

複合名詞句が主語の位置にあるとき、(75)に示すように中国語では複合名詞句制約に違反する構造が可能である。一方、複合名詞句が主語以外の統語構造上の位置にあるときは複合名詞句制約に違反する構造が許されない。(74)では、複合名詞句が主語ではなく目的語の位置にあり、複合名詞句制約に違反する構造が非文と判断される。

Huang et al. (2009)は、例文(75)のように複合名詞句制約に違反する構造が可能である理由を次のように説明している。中国語は全ての項の位置(argument position)に空白代名詞(empty pronoun)が起こる。これらの空白代名詞は一般コントロール規則(Generalized Control Rule=GCR)

に従うという。一般コントロール規則(以下 GCR)は Huang(1984)が提案したもので、空白代名詞が最も近い名詞要素と同一指示になるという規則である。例文(75)は複合名詞句制約に違反しているが、空白代名詞に最も近い名詞要素が主題化した Zhangsan であるため、GCR により Zhangsan と空白代名詞の同一指示が成立し、文法的な構造になる。例文(76)のような「外の関係」の連体修飾節からの主題化による抜き出しも同様に文法的である。

(76) Lisi<sub>i</sub>, [[e<sub>i</sub> chang ge de] shengyin] hen haoting.

Lisi sing song DE voice very good

‘Lisi<sub>i</sub>, the voice with which [he<sub>i</sub>] sings is very good.’

GCR は、複合名詞句が主語の位置に現れた場合に複合名詞句の成分を主題にすることができると正確に予測している。以上のように、中国語の複合名詞句は島の制約を受けているが、GCR が適用可能な範囲では島の制約への違反が可能である。

## 6.2 例外としての人魚構文

6.1 節で見たように、中国語にも「島」が存在する。Huang は GCR が適用可能な範囲で、島の制約への違反が可能であると指摘した。しかし、中国語の人魚構文は複合名詞句が主語の位置ではなく述語の位置にあり、GCR が適用可能な範囲の外にある。本節では、人魚構文は島の制約に違反できるか、検証する。まず、以下の人魚構文の例文を見みよう

(77) dajia<sub>i</sub> dou shi [\_\_\_<sub>i</sub> songle yikouqi] de yangzi.

皆 全て COP ほっと 一息 PART 様子

“皆はほっとした様子だ。”

(78) ta<sub>i</sub> shi yifu [\_\_\_<sub>i</sub> yao ba huangdi laxia ma] de

彼 COP ONE-CL しょう CAUS 皇帝 引き落とす 馬 PART

jiashi.

勢い

“彼は皇帝を引きずり下ろす勢いだ。”

上記の例文を示したように、人魚構文は複合名詞句が主語の位置にないにもかかわらず、複合名詞句制約に違反する構造が可能である。人魚構文の主節の主語が[節]の主語と対応する構造は、厳密な意味では GCR の適用範囲ではないが、主節の主語と空白代名詞の間には他の名詞句がないので GCR を拡大解釈することができるかもしれない。しかし、人魚構文では主節の主語と[節]の目的語が対応する構造も可能である。

(79) ta<sub>i</sub> cong xiao jiu shi yifu [laolao bu qin \_\_\_<sub>i</sub>  
 彼 から 小さい 既 COP ONE-CL お婆さん ない 親しむ  
 jiujiu bu ai \_\_\_<sub>i</sub>] de dexing.  
 叔父さん ない 愛する PART 徳性  
 “彼は小さい頃から誰でも愛さない。”

(80) tamen<sub>i</sub> cai shi [ni qi wang \_\_\_<sub>i</sub>] de yangzi.  
 彼たちこそ COP あなた 期待 PART 模様  
 “彼たちこそあなたを期待している模様だ。”

(81) zhejianshi<sub>i</sub> shi [xiaowang zuo \_\_\_<sub>i</sub>] de yangzi.  
 このこと COP 王さん やる PART 様子  
 “このことは王さんがやっている模様だ。”

上記の例文には、主節の主語と[節]の目的語が対応することができる。この構造では、主節の主語と[節]の目的語の位置にある空白名詞句の間に[節]の主語が存在するので、GCR による説明は不可能である。しかし、全ての人魚構文で主節の主語と[節]の目的語が対応する構造が可能というわけではない。例文(82)と(83)のように、主節の主語と[節]の主語が対応する構造しか認められない場合もある。

(82)\* yikouqi<sub>i</sub> shi [dajia songle \_\_\_<sub>i</sub>] de yangzi.  
 一息 COP 皆 ほっと PART 様子  
 \*“(一息は皆をほっとした様子だ。”

(83)\* ma<sub>i</sub> shi [ta yao ba huangdi laxia \_] de jiashi.

馬 COP 彼 しよう CAUS 皇帝 引き落とす PART 勢い

\*“馬は彼が皇帝を引きずり下ろす勢いだ。”

上記の例文を示したように、複合名詞句が主語の位置にあるにもかかわらず複合名詞句制約に違反する構造が可能なのは、人魚構文の特徴であって、他の構文には見られないものである。

人魚構文と類似する構造の文を検証する。中国語の連体修飾節は、意味的關係から「内の関係」と「外の関係」二つの異なる関係に分類できる。

(84) [chang ge] de ren (内の関係)

歌う 歌 PART 人

“歌を歌う人”

(85) [chang ge] de shengyin (外の関係)

歌う 歌 PART 声

“歌を歌う声”

「外の関係」の連体修飾節が述語名詞を修飾する構造を示す例文(86a)は、(21)の人魚構文構造に似ている。しかし、「外の関係」の連体修飾節が述語名詞を修飾する構造の場合、連体修飾節の目的語だけでなく主語も[節]の外に抜き出すことができない。

(86) a. zhe shi [xiaowang zao fangzi] de shengyin.

これ COP 王さん 建てる 家 PART 音

“これは王さんが家を建てる音だ。”

b.\* fangzi shi [xiaowang zao \_] de shengyin.

家 COP 王さん 建てる PART 音

\*“家が王さんを建てる音だ。”

c.\* xiaowang shi [\_ zao fangzi] de shengyin.

王さん COP 建てる 家 PART 音

\*“王さんは家を建てる音だ。”

例文(86)を示したように、外の関係の連体修飾節をもつコピュラ文では[節]の中の成分が抜き出すができない。人魚構文は、複合名詞句が主語の位置にないにもかかわらず、[節]中の成分を[節]から抜き出すことができる点で例外的である。

### 6.3 まとめ

本章では、「島の制約」に関して、「外の関係」の連体修飾節が述語名詞を修飾する構造と比較した。GCR が適用可能な範囲で、島の制約への違反が可能である。しかし、人魚構文は GCR が適用可能な条件が満たされていないにもかかわらず、複合名詞句制約に違反する構造が可能である。そして、人魚構文で[節]の主語だけでなく目的語も主節の主語に対応できるが、「外の関係」の連体修飾節が述語名詞を修飾する構造の場合、連体修飾節の目的語だけでなく主語も[節]の外に抜き出すができない。中国語の人魚構文は、複合名詞句が主語の位置にあるにもかかわらず複合名詞句制約に違反できるということを明らかにした。

## 7. おわりに

### 7.1 まとめ

Ono (2013)は、中国語に人魚構文が存在することを指摘し、その構造を明らかにしたが、人魚構文の文法的特徴については論じていない。本論文は日本語の人魚構文を参考にして、中国語の人魚構文の成立範囲と一部の文法特徴を記述した。各章で示した記述内容は、以下のようにまとめることができる。

まず、4 章では、中国語の人魚構文における「名詞」の位置に現れる名詞を検証した。中国語の人魚構文も日本語のように、主語と「名詞」は同一指示的ではないという特徴がある。そして、角田を指摘した日本語の人魚構文に対応する中国語の構文をコーパスを使って検索した。現時点では、中国語の人魚構文における「名詞」の位置に現れることができる普通名詞は、Ono (2013)が指摘した名詞以外、他の名詞が見当たらない。また、日本語の人魚構文に現れる形式名詞は、中国語の人魚構文の「名詞」の位置に現れない。中国語の人魚構文の成立条件は、日本語の成立条件より狭いと考えられる。

5 章では、人魚構文のコピュラについて考察した。中国語ではコピュラが主語の後ろである。基本構造は「主語+コピュラ+述語」の配列で、コピュラを省略することができない。なお、補語が連体修飾される構造にもコピュラを省略できない。しかし、人魚構文のコピュラは主節の主語と埋め込まれた[節]の主語が一致する場合、省略できる。主節の主語が埋め込まれた[節]の目的語と対応す

る場合、コンピュータを省略することができない。「性格」に関する人魚構文は特殊である。

6章では、「外の関係」の連体修飾節が述語名詞を修飾する構造との比較を通して考察した。中国語にも「島の制約(island constraints)」が存在している。Huang は GCR が適用可能な範囲で、島の制約への違反が可能であると指摘した。しかし、人魚構文は複合名詞句が主語の位置にないにもかかわらず、複合名詞句制約に違反する構造が可能である。人魚構文で[節]の主語だけでなく目的語も主節の主語に対応できる。しかし、人魚構文を類似している、「外の関係」の連体修飾節が述語名詞を修飾する構造の場合、連体修飾節の目的語だけでなく主語も[節]の外に抜き出すことができない。中国語の人魚構文は、複合名詞句が主語の位置にあるにもかかわらず複合名詞句制約に違反できるという特徴を明らかにした。

## 7.2 今後の課題

Ono の研究上に、中国語の人魚構文について更なる考察を行った。いくつかの特徴を見出したが、そこまでの分析はまだ十分ではないと思う。これ以上の文型との対比はしてなかった、一部の特性しか表現していない。また、人魚構文の「名詞」の位置に起こる名詞には、角田が提出した名詞を参考にして、コーパスから例文を収集したが、他の名詞を調べていない。今後は、人魚構文の「名詞」の位置に起こる名詞を収集しながら、ほかの文型との対比を加えて、人魚構文の文法特徴を更に明確することを今後の課題とする。

### 参照文献

Harada, S-I (1971) Ga-No Conversion and Idiolectal Variations in Japanese. *Gengo Kenkyu* 60. 25-38.

Huang, James (1984) On the distribution and reference of empty pronouns. *Linguistic Inquiry* 15. 531-574.

Huang, James, Y.-H. Audrey Li and Yafei Li (2009) *The syntax of Chinese*. Cambridge: Cambridge University Press.

片桐真澄 (2013) 「近くて遠い、遠くて近い、フィリピンのことば : タガログ語と日本語」『日本語新発見 : 世界から見た日本語 : 国立国語研究所第 5 回 NINJAL フォーラム』. 14-20

金萍 (2016) 「“是～的”構文における“VO 的”と“V 的 O”の一考察」『人間社会環境研究』31. 41-49. 金沢大学大学院人間社会環境研究科.

刘月華・潘文娉・故韡 (1983)『实用现代汉语语法』外语教学与研究出版社.

- Ono, Hideki (2013) Mermaid construction in Mandarin Chinese. In Tsunoda (ed.) (2013), 677-679.
- Ross, John R. 1986 (1967) *Infinite syntax*. Norwood, NJ: Ablex (1967. Cambridge, MA: MIT dissertation).
- 澤田浩子 (2003) 「属性叙述における名詞述語文」『日本語教育』116. 39-48.
- 杉村博文 (1980) 「「の」「のだ」と「的」「是...的」」『大阪外国語大学学報』大阪外国語大学 編 49. 75-89.
- 角田太作 (1996) 「体言締め文」『日本語文法の諸問題 高橋太郎先生古希記念論文集』鈴木泰・角田太作編集, 139-161. ひつじ書房.
- 角田太作 (2011) 「人魚構文: 日本語学から一般言語学への貢献」『国立国語研究所論集』1. 53-75.
- 角田太作 (2012) 「形容詞節と体言締め文: 名詞の文法化 人魚構文と名詞の文法化」『国語研プロジェクトレビュー』7. 3-11
- Tsunoda, Tasaku (2013a) Mermaid construction: an introduction and summary. In Tsunoda (ed.) (2013), 15-65.
- Tsunoda, Tasaku (2013b) Mermaid construction in Modern Japanese. In Tsunoda (ed.) (2013), 66-150.
- Tsunoda, Tasaku (ed.) (2013) *Adnominal Clauses and the 'Mermaid Construction': Grammaticalization of Nouns*. National Institute for Japanese Language and Linguistics.

## 謝辞

本論文を作成するに当たり、指導教員の佐々木冠先生からは多大な助言をいただいた。心より厚く感謝を申し上げます。また、滝沢直宏先生には副査としてご助言を戴くとともに本論文の細部にわたりご指導いただいた。ここに感謝の意を表したい。

そして、いつも本論文の作例の適否について相談に乗って下さった佐々木ゼミのメンバーと中国の友人達にも感謝の意を表したい。日本語文法をチェックして下さったアカデミックライティングの皆様にも厚く御礼を申し上げ、感謝する次第である。

付録:調査協力者のフェースシート

- 協力者番号:001
- 生年月日:1994年12月
- 性別:男性
- 最終学歴:2019.07 南洋理工大学 大学院 卒業見込み
- 母語:中国語
- 第二言語:英語
- 出身:貴州省貴陽市
- 居住歴:1994.06～2012.09 貴州省貴陽市  
2012.09～2017.07 上海市  
2017.07～2019.06 シンガポール  
2019.06～ 深圳市
  
- 協力者番号:002
- 生年月日:1991年06月
- 性別:女性
- 最終学歴:2016.07 安順学院 卒業
- 母語:中国語
- 第二言語:日本語
- 出身:貴州省畢節市
- 居住歴:1991～2012.09 貴州省畢節市  
2012.09～2018.05 貴州省安順市  
2018.05～ 貴州省畢節市
  
- 協力者番号:003
- 生年月日:1993年03月
- 性別:女性
- 最終学歴:2016.07 安順学院 卒業

- 母語:中国語
- 第二言語:日本語
- 出身:貴州省遵義市
- 居住歴:1993～2012.07. 貴州省遵義市  
2012.07～2016.09 貴州省安順市  
2016.09～ 貴州省遵義市
  
- 協力者番号:004
- 生年月日:1993 年 02 月
- 性別:女性
- 最終学歴:2016.07 安順学院 卒業
- 母語:中国語
- 第二言語:英語
- 出身:貴州省六盤水市
- 居住歴:1993～2012.07 貴州省六盤水市  
2012.07～2016.09 貴州省安順市  
2016.09～ 貴州省六盤水市
  
- 協力者番号:005
- 生年月日:1994 年 08 月
- 性別:男性
- 最終学歴:2015.07 重慶大学城市科学学院 卒業
- 母語:中国語
- 第二言語:英語
- 出身:貴州省貴陽市
- 居住歴:1994～2012.07 貴州省貴陽市  
2012.07～2015.09 重慶市  
2015.09～ 貴州省貴陽市

- 協力者番号:006
- 生年月日:1998年03月
- 性別:女性
- 最終学歴:2021.07 西北大学 卒業見込み
- 母語:中国語
- 第二言語:英語
- 出身:河北省保定市
- 居住歴:1998～2017.07 河北省保定市  
2017～ 陝西省西安市

- 協力者番号:007
- 生年月日:1999年08月
- 性別:男性
- 最終学歴:2021.07 天津理工大学 卒業見込み
- 母語:中国語
- 第二言語:英語
- 出身:天津市
- 居住歴:1999～ 天津市

- 協力者番号:008
- 生年月日:1997年07月
- 性別:女性
- 最終学歴:2020.07 湖北民族大学 卒業見込み
- 母語:中国語
- 第二言語:英語
- 出身:湖北省恩施市
- 居住歴:1997～ 湖北省恩施市